

愛史協

愛知県史跡整備市町村協議会会報 第19号

平成22年3月31日

事務局 豊橋市教育委員会 美術博物館内

電話 (0532) 51-2879

本年度の主な活動は、以下のとおりです。

平成21年度総会

平成21年7月30日(木)に、常滑市(会場:常滑市役所)において、県教育委員会生涯学習監を来賓にお招きして開催しました(出席者:55名)。議案はいずれも原案のとおり承認され、議事終了後、平成22年度県費予算要望書を県生涯学習監にお渡ししました。

1 議案

- (1) 平成20年度事業報告
- (2) 平成20年度決算報告および監査報告
- (3) 平成21年度事業計画(案)
- (4) 平成21年度予算(案)
- (5) 平成22年度県費予算要望事項(案)
- (6) 規約の改正について
- (7) 役員を選出について

2 協議事項

次年度総会開催地について

平成22年度は幸田町での開催が決定(平成22年7月29日予定)

3 講演

「地域に生きる文化財」 愛知学院大学非常勤講師 赤羽一郎氏



総会風景



赤羽一郎氏の講演

研 修 会

■平成 21 年度研修会

平成 21 年 12 月 15 日（火）に、知立市図書館において、「史跡における現状変更・整備・復元」をテーマに平成 21 年度の研修会を開催しました（担当：豊川市 出席者：29 名）。

奈良文化財研究所建造物研究室の島田敏男氏によるご講演と、豊川市教育委員会の平松弘孝氏による史跡三河国分寺跡を取り上げた事例発表を実施しました。



島田敏男氏の講演



平松弘孝氏の発表

内容：講演 「史跡における現状変更・整備・復元
—平城宮跡の整備・復元をとおして—」
島田敏男氏（奈良文化財研究所建造物研究室）
事例発表「史跡三河国分寺跡の保護と経緯とこれから」
平松弘孝氏（豊川市教育委員会）

地区協議会

■尾張地区協議会

2月3日（水）東浦町（会場：東浦町文化センター）にて開催されました（出席者 24 名）。

1 議事

- (1) 文化財の防火・防犯対策についての各市町村の取り組みについて
- (2) 天然記念物保護・活用事例集について
- (3) その他（総会・研修会等開催地ローテーションについて）

2 視察

国史跡・入海貝塚、乾坤院（町史跡・水野家墓所）



視察風景・入海貝塚

○平成 22 年度は南知多町で開催

■三河地区協議会

2月10日（水）新城市（会場：新城市文化会館）にて開催されました（出席者 19 名）。

1 議事

- (1) 指定文化財の災害と復旧（アンケート調査より情報交換、事例報告）
- (2) 天然記念物保護・活用事例集作成について
- (3) その他（総会・研修会等開催地ローテーションについて）

2 視察

国名勝天然記念物・鳳来寺山、国重文・鳳来寺山東照宮



視察風景・鳳来山東照宮

○平成 22 年度は安城市で開催

研修会に参加して

近年の研修会は、先進市町の報告と視察が多かったが、今回は史跡整備に関する先鋭的な論者である奈良文化財研究所の島田敏夫氏をお招きし、その考えをうかがう機会となった。

氏の講演は、まさに史跡整備事業全般に対する現状と課題ともいえるものだった。例えば、史跡における現状変更、つまり「できることとできないこと」の判断について、じつは文化財保護法・他諸規則上の判断基準は「無い」ということ、そして従来史跡整備で「できない」と思われてきたことは、補助金運用上の採択基準として設けられたものであって、「してはいけない行為」ではないという指摘には、新鮮な驚きをおぼえた。

一方で、遺跡における復元の是非について、「厳正な復元」というものは本来ありえず、現代空間としての施設である復元物の是非を論じることはそもそもナンセンスである、という氏の考えには頭を抱えた。史跡整備が市民に与える知的刺激を私は信じるが、その判断基準となるのは「精度の高さ」、つまり本物志向である。しかしそれとて現代空間に許容された一面的な姿に過ぎないなら、自分は何を目標に史跡整備を考えればいいのか・・・結局、史跡整備の善し悪しに基準などなく、史跡が所在する地域の事情に即した価値表現がなされ、それが地元を受け入れられ愛されれば、それこそが正解ということか。

豊川市の三河国分寺整備に向けての取り組みをうかがうにつけ、史跡整備事業の大変さを思い知るとともに、その骨太な姿勢をうらやましく思う。

[岩原 剛：豊橋市教育委員会]

尾張地区協議会に参加して

「文化財の防火・防犯対策の取組みについて」を協議事項とし、各加盟各市町における現状を報告、協議を行いました。文化財の規模や管理体制等により設置内容が異なる防火設備は、対象となる文化財に適した対策が必要であると改めて感じました。そして防犯対策についてはまだまだこれから、という状況が窺えました。私にとっては他市町の事例に学び、情報を得る良い機会でした。

また、視察では国指定史跡「入海貝塚」と乾坤院を訪れ、史跡の保存活動についてお話を伺うことができ、大変有益な協議会であったと思いました。

[横井さつき：津島市教育委員会]

三河地区協議会に参加して

テーマは災害と復旧。文化財が被災した際、国庫補助の申請ができなかったケースの報告があった。市町村独自で補助ができないことも多い中、各市町村が、それぞれの状況に応じて対応をしている現状が浮き彫りとなった。

現地では、鳳来寺山と東照宮を視察した。印象的だったのは、倒木などが建物のすぐ脇で起こっていたことである。しかし、今にも倒れそうな木も指定の範疇にあり、なんとかしたいが、手を出せない状況を痛感させられた。

本市では、災害による被害を受けたことはないが、災害時には予想外のことが起こるといふ事例を聞き、考えさせられることの多い一日であった。

[平井義敏：みよし市教育委員会]

企画運営委員会の活動について



企画運営委員会は、平成 22 年度刊行予定の『天然記念物保護活用事例集(仮)』の検討作業等を中心に 4 回開催しました。21 年度総会で委員が大きく入れ替わり、新たな体制で今後の活動について意見が交わされました。

今後も加盟団体の声を聞きながら、皆様と協働して事業を展開してまいりますので、運営へのご協力をお願いいたします。

◇企画運営委員会構成

豊橋市（会長）、津島市、みよし市、瀬戸市、豊川市、名古屋市、東浦町、吉良町、小牧市、刈谷市、犬山市、幸田町、新城市

- 第 1 回 ○日時：5 月 27 日（水）午後 2 時～5 時 ○場所：犬山市立図書館会議室
- 第 2 回 ○日時：9 月 9 日（水）午後 1 時 30 分～5 時 ○場所：豊橋市美術博物館講義室
- 第 3 回 ○日時：11 月 20 日（金）午後 1 時 30 分～5 時 ○場所：名古屋市教育センター教育館
- 第 4 回 ○日時：3 月 17 日（水）午後 1 時 30 分～5 時 ○場所：名古屋市東生涯学習センター

加盟団体一覧

尾張地区（23 団体）

名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、東海市、知多市、豊明市、愛西市、東郷町、長久手町、甚目寺町、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

三河地区（18 団体）

豊橋市、岡崎市、豊川市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、田原市、みよし市、吉良町、幡豆町、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村

※加盟団体は、平成 21 年度末の状況です。